

スイッチの時間範囲設定

目的

時間範囲の設定は、特定の時間にスイッチの他の機能をトリガーまたはアクティブにする場合に便利です。また、一定期間後に無効にする機能の範囲を保持する期間を指定することもできます。繰り返し時間範囲は、機能を継続的に有効または無効にする場合にも設定できます。これらの機能のいくつかは、セキュリティまたはアクセス制御を実装するために時間範囲に依存しています。

時間範囲は、次のタイプのコマンドで定義および関連付けることができます。

- アクセスコントロールリスト(ACL)：時間範囲は、ACLとアクセスコントロールエントリ(ACE)が有効である時間を制限するために使用されます。これは、特定の時間にネットワークトラフィックフィルタを制限するのに役立ちます。たとえば、ユーザが特定のリソースにアクセスできるのは営業時間だけです。
- 802.1xポート認証：時間範囲は、802.1x対応ポートで802.1xがアクティブになる期間を定義するために使用されます。これは、特定の時間にネットワークへのアクセスを制限するのに役立ちます。たとえば、オフィスネットワークアクセスを営業時間だけに制限できます。
- [ポート設定(Port Settings)]：特定の期間、ポートのアップまたはダウンの状態を設定できます。時間範囲がアクティブでない場合、ポートはシャットダウン状態です。時間範囲が設定されている場合は、ポートが管理上アップの状態のときにのみ有効です。
- Time-Based Power over Ethernet(PoE)：PoEは特定の期間デバイスに設定できます。この機能を使用すると、ポートごとに、週の日数とPoEを有効にする時間を定義できます。時間範囲がアクティブでない場合、PoEは無効になります。

時間範囲には2つのタイプがあります。

- [絶対]：このタイプの時間範囲は、特定の日付で開始するか、または指定した日付で終了するか、無限に拡張します。定期的な要素を追加できます。
- [繰り返し(Recurring)]：このタイプの時間範囲には、絶対範囲に追加され、定期的を開始および終了する時間範囲要素が含まれます。

時間範囲に絶対的な範囲と繰り返し範囲の両方が含まれている場合、関連するコマンドの操作は、絶対開始時間と繰り返し時間範囲の両方に達した場合にのみアクティブになります。いずれかの時間範囲に達すると、関連するコマンドの操作は非アクティブになります。

この記事では、スイッチで時間範囲を設定する方法について説明します。

該当するデバイス

- Sx300シリーズ
- Sx350シリーズ
- SG350Xシリーズ
- Sx500シリーズ
- Sx550Xシリーズ

[Software Version]

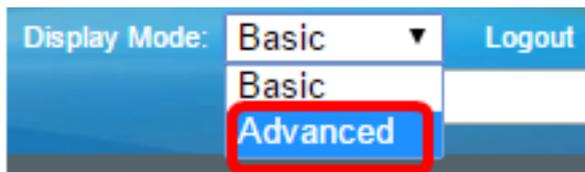
- 1.4.7.06 — Sx300、Sx500
- 2.2.8.04 — Sx350、SG350X、Sx550X

スイッチの時間範囲設定

絶対時間範囲の設定

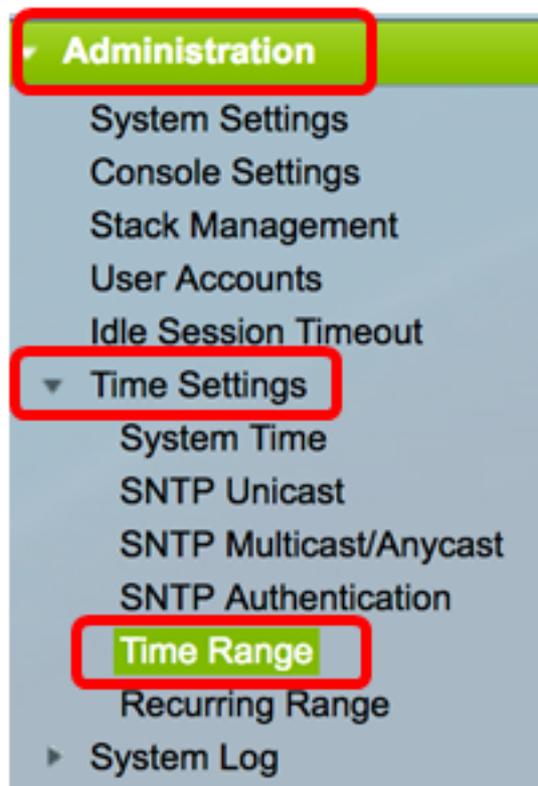
ステップ1：スイッチのWebベースのユーティリティにログインし、[Display Mode]ドロップダウンリストで[Advanced]を選択します。

注：使用できるメニューオプションは、デバイスのモデルによって異なります。この例では、SG350X-48MPが使用されています。



注：Sx300またはSx500シリーズスイッチを使用している場合は、ステップ2に[進みます](#)。

ステップ2:[Administration](#) > [Time Settings](#) > [Time Range](#)の順に選択します。



ステップ3：新しい時間範囲を追加するには、[追加](#)をクリックします。

Time Range

Time Range Table			
<input type="checkbox"/>	Time Range Name	Absolute Starting Time	Absolute Ending Time
0 results found.			
<input type="button" value="Add..."/>	<input type="button" value="Edit..."/>	<input type="button" value="Delete"/>	
<input type="button" value="Recurring Range"/>			

ステップ4:[Time Range]フィールドに時間範囲名を入力します。範囲は1 ~ 32文字です。

☀ Time Range Name: (8/32 characters used)

注：この例では、時間範囲名はDayshiftです。

ステップ5:[Absolute Starting Time]領域で、オプションボタンをクリックして、時間範囲の開始点を決定します。次のオプションがあります。

- [即時(Immediate)]：すぐに開始する時間範囲にこれを選択します。
- 「日時」(Date and Time) – 時間範囲が開始する日時を入力します。

Absolute Starting Time: Immediate
 Date 2017 Jan 01 Time 08 00 HH:MM

注：この例では、時間範囲は2017年1月1日の午前8:00から始まります。

ステップ6:[Absolute Ending Time (絶対終了時間)]領域で、オプションボタンをクリックして、時間範囲の終了時間を決定します。次のオプションがあります。

- [無限]：時間範囲が終了しないようにするには、これを選択します。
- 「日付と時刻」(Date and Time) – 時間範囲が終了する日付と時刻を入力します。

Absolute Ending Time: Infinite
 Date 2017 Dec 31 Time 17 00 HH:MM

注：この例では、時間範囲は2017年12月31日の午後17:00に終了します。

ステップ7:[Apply]をクリックし、[Close]をクリックします。

Time Range Name: (8/32 characters used)

Absolute Starting Time: Immediate
 Date Time HH:MM

Absolute Ending Time: Infinite
 Date Time HH:MM

ステップ8: (オプション) [Save]をクリックし、設定をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

cisco
Language:

3-Port Gigabit PoE Stackable Managed Switch

Time Range

Time Range Table

<input type="checkbox"/>	Time Range Name	Absolute Starting Time	Absolute Ending Time
<input type="checkbox"/>	Dayshift	2017-Jan-01 08:00:00	2017-Dec-31 17:00:00

ステップ9: (オプション) 時間範囲を編集するには、編集する時間範囲のチェックボックスをオンにし、[Edit]をクリックします。

Time Range

Time Range Table

<input checked="" type="checkbox"/>	Time Range Name	Absolute Starting Time	Absolute Ending Time
<input checked="" type="checkbox"/>	Dayshift	2017-Jan-01 08:00:00	2017-Dec-31 17:00:00

ステップ10: (オプション) 時間範囲を削除するには、削除する時間範囲のチェックボックスをオンにして、[削除]をクリックします。

Time Range

Time Range Table			
<input checked="" type="checkbox"/>	Time Range Name	Absolute Starting Time	Absolute Ending Time
<input checked="" type="checkbox"/>	Dayshift	2017-Jan-01 08:00:00	2017-Dec-31 17:00:00

ステップ11. (オプション) 設定した絶対時間範囲の定例時間範囲設定を構成するには、[定例時間範囲]ボタンをクリックして、ステップ2に進みます。

Time Range

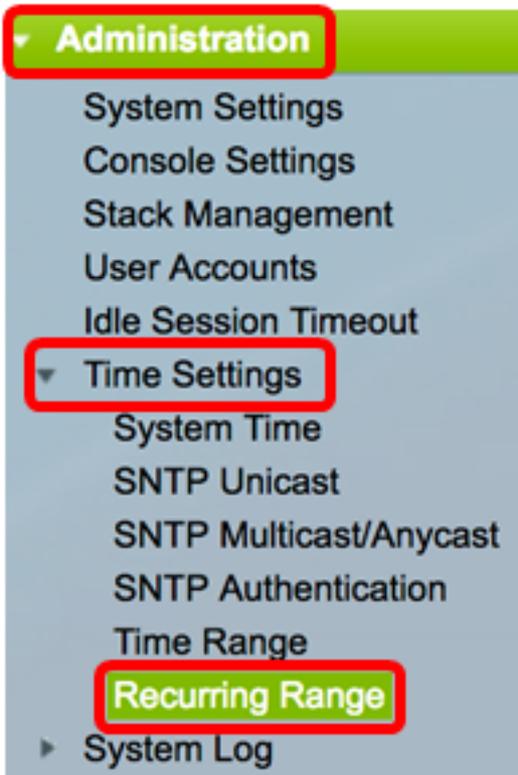
Time Range Table			
<input type="checkbox"/>	Time Range Name	Absolute Starting Time	Absolute Ending Time
<input type="checkbox"/>	Dayshift	2017-Jan-01 08:00:00	2017-Dec-31 17:00:00

これで、スイッチの絶対時間範囲設定が正常に設定されたはずです。

定例時間範囲の設定

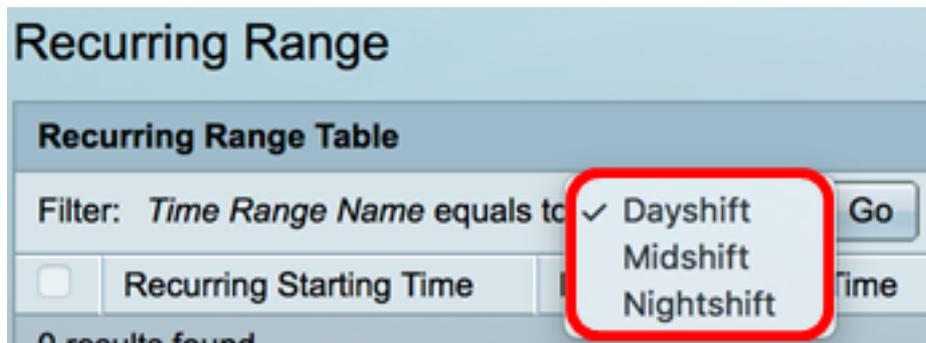
繰り返し時間要素は、絶対時間範囲に追加できます。これにより、操作が絶対範囲内の特定の期間に制限されます。

ステップ1: スwitchのWebベースのユーティリティで、[Administration] > [Time Settings] > [Time Range]を選択します。



注：または、[時間範囲]ページの[定期的な範囲]ボタンをクリックします。

ステップ2:[Time Range Name]ドロップダウンリストから時間範囲名を選択します。



注：この例では、[Dayshift]が選択されています。

ステップ3:[Go]をクリックします。このテーブルには、選択した時間範囲名に対して設定済みの定期的な範囲が表示されます。

注：この例では、繰り返し範囲は設定されていません。

Recurring Range

Recurring Range Table

Filter: *Time Range Name* equals to

Recurring Starting Time Recurring Ending Time

0 results found.

ステップ4:[Add]をクリックし、新しい定例時間範囲を追加します。

Recurring Range

Recurring Range Table

Filter: *Time Range Name* equals to

Recurring Starting Time Recurring Ending Time

0 results found.

[時間範囲名(Time Range Name)]領域には、設定する時間範囲が表示されます。

ステップ5:[Recurring Starting Time (繰り返し開始時刻)]領域で、ドロップダウンリストを使用して、曜日と時間範囲が繰り返し基準で開始する時刻(24時間形式)を指定します。

Time Range Name:

Recurring Starting Time:

注：この例では、毎週月曜日の午前8:00から繰り返し時間範囲が始まります。

ステップ6:[Recurring Ending Time (繰り返し終了時刻)]領域で、ドロップダウンリストを使用して、曜日と、時間範囲が繰り返し基準で終了する時刻(24時間形式)を指定します。

Recurring Ending Time:

注：この例では、毎週金曜日の午後17:00に繰り返し時間範囲が終了します。

ステップ7:[Apply]をクリックし、[Close]をクリックします。

Time Range Name: Dayshift

Recurring Starting Time: Day of the Week Time HH:MM

Recurring Ending Time: Day of the Week Time HH:MM

ステップ8: (オプション) [Save]をクリックし、設定をスタートアップコンフィギュレーションファイルに保存します。

cisco Language: English

3-Port Gigabit PoE Stackable Managed Switch

Recurring Range

Recurring Range Table

Filter: *Time Range Name* equals to

<input type="checkbox"/>	Recurring Starting Time	Recurring Ending Time
<input type="checkbox"/>	Mon, 08:00:00	Fri, 17:00:00

ステップ9: (オプション) 定期的な時間範囲を削除するには、削除する時間範囲のチェックボックスをオンにして、[削除]をクリックします。

Recurring Range Table

Filter: *Time Range Name* equals to

<input checked="" type="checkbox"/>	Recurring Starting Time	Recurring Ending Time
<input checked="" type="checkbox"/>	Mon, 08:00:00	Fri, 17:00:00

ステップ10: (オプション) 時間範囲を設定するには、[時間範囲]ボタンをクリックします。

Recurring Range

Recurring Range Table

Filter: *Time Range Name* equals to

<input type="checkbox"/>	Recurring Starting Time	Recurring Ending Time
<input type="checkbox"/>	Mon, 08:00:00	Fri, 17:00:00

これで、スイッチで定例時刻の範囲設定が正常に設定されました。